第１５回スーパーママチャリグランプリ　出場

令和５年１月７日　富士スピードウェイ 国際レーシングコース

その日、戦いの火蓋は切られた。

チーム対抗６時間耐久ママチャリ世界選手権＝スーパーママチャリグランプリ＝ママチャリ日本ＧＰ。

当団 VS 隊有志は「ママチャリクラス」にて出場。８段速以下のママチャリで走行する。
グリッドスタートによるチーム対抗６時間耐久レースだ。

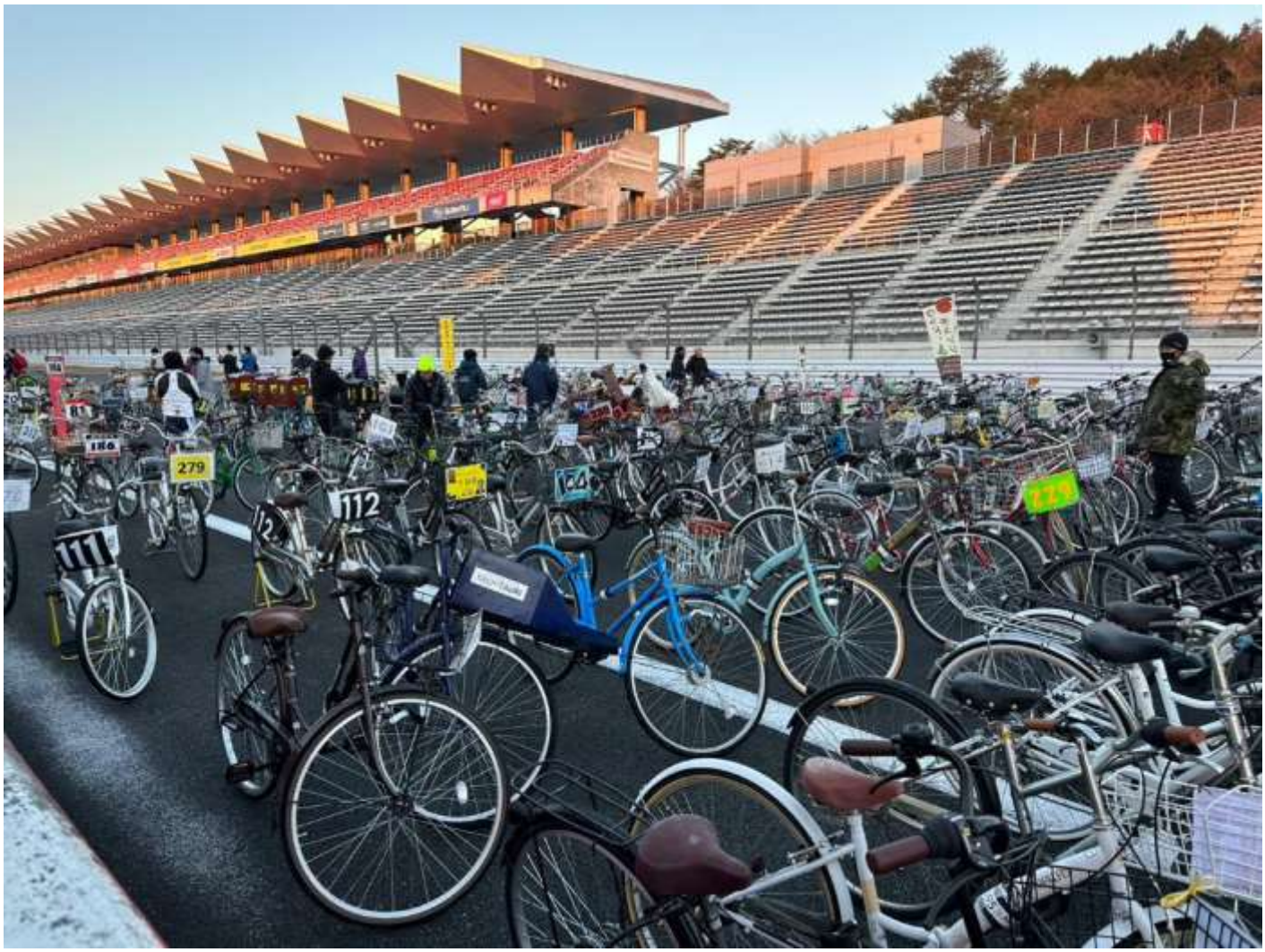
SUPER MC GP
SUPER MAMA CHARI GRAND PRIX

富士スピードウェイ国際レーシングコース。
全長：4,563m　ストレート長：1,475m　コーナー数：16　コース幅：15～25m　標高：545m～585m。
１．５km に及ぶストレートと 40m に及ぶ標高差。ライダーたちは体力の限界に挑む。

あご紐の付いたヘルメットに、グローブ、長袖・長ズボン、運動靴着用が求められる。

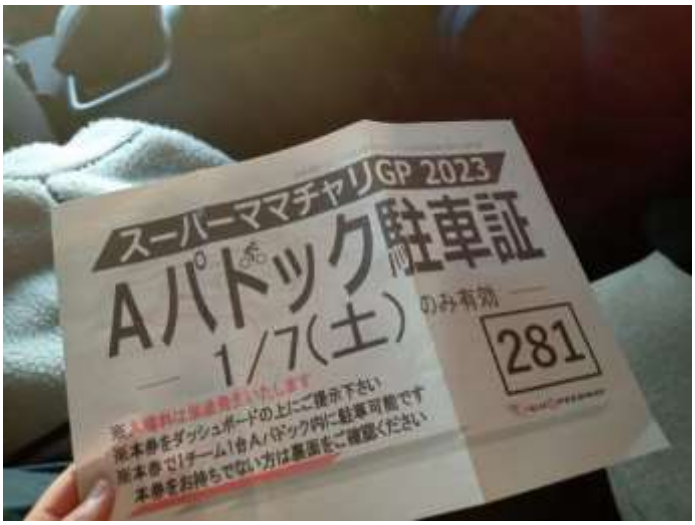
「サドルは一番下で固定」という過酷な規定。

これが相棒。ゼッケン「No.281」。



それでは、スーパーママチャリ日本 GP に挑む、S7VS 達の気品と勇姿を、ご覧ください。

相模原を出発したのは午前３時。



ママチャリを搬入。

入場開始は４時から７時。

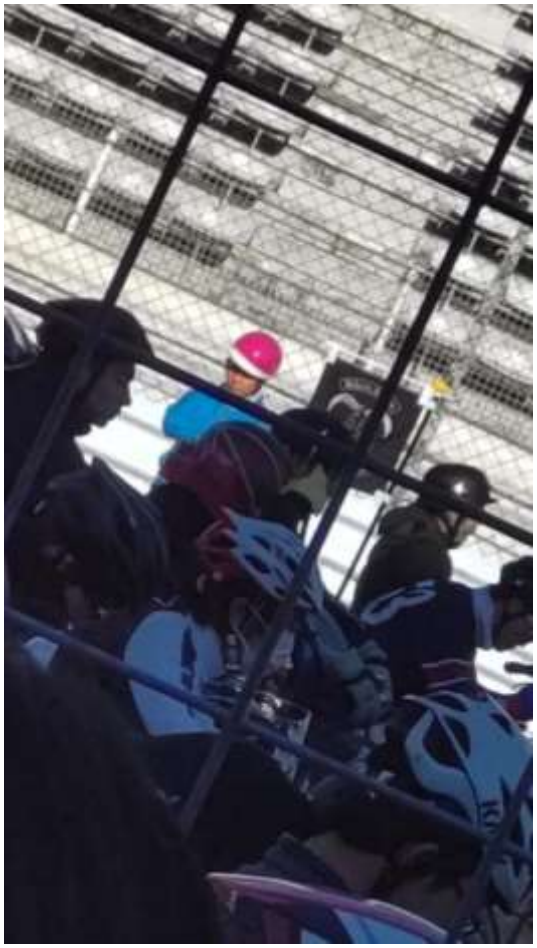
オフィシャルカーも入場。

ママチャリは 8 時までに車両検査を受けてグリッドへ。

われらが S7VS「281」号。

スタンバイ OK。イツデモシュツドウカノウ。

Panasonic



いよいよ９時。スタート。ここから長い闘いが始まる。

頑張って漕ぐ。

漕ぐ。

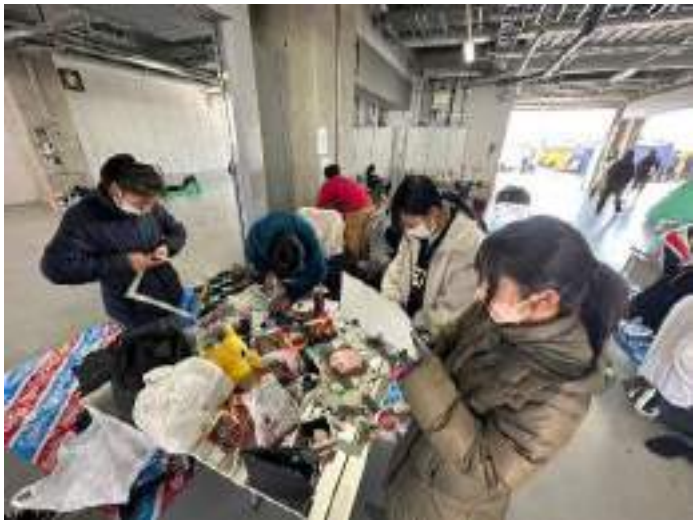
タブレットでレースをチェックするピットクルー。

沢山応援する。

応援する。

自転車は相棒！

イツデモシュツドウカノウ。



待ち時間には新春団ラリーＶＳコーナーの準備。

１５時。無事に６時間のレースを完走。
正月太りは解消され、隊の絆は一層深まった。自転車とは仲良くなれただろうか。

トロフィー獲得！

2023
第15回ママチャリ日本GP
Super MaMaChari GP
237 位
2023年1月7日

Scouting never stops!

(2023.1.7 VS 隊)